

## 平成29年度 第1回伊勢原市総合運動公園再生修復方針検討委員会 会議録

- [事務局] みどり公園課
- [開催日時] 平成29年12月26日(火) 10:00~12:00
- [開催場所] 伊勢原市役所本庁舎3階全員協議会室
- [出席者]
- (委員) 福岡委員長、高山副委員長、田中委員、目黒委員、岩崎委員、靱山委員、高木委員、山宮委員、稲葉委員
- (事務局) 都市部：重田部長  
みどり公園課：陶山課長、大園係長、他2名  
スポーツ課：小巻課長、小泉係長
- [公開の可否] 公開
- [傍聴者] 0名

### 《会議経過》

- 1 委員紹介、委嘱状交付
- 2 開 会
- 3 あいさつ (宍戸副市長)
- 4 委員長、副委員長の選出
- 5 議 題
  - ・「伊勢原市総合運動公園に係わる課題の確認と再生修復事業の考え方の検討」
- 6 閉 会

《会議の内容》

○宍戸副市長あいさつ

○議題 [委員長、副委員長を選出し、委員長が進行を行う。]

(1) 伊勢原市総合運動公園に係わる課題の確認と再生修復事業の考え方の検討

事務局 ・資料3「伊勢原市総合運動公園再生修復方針について」に基づき事務局より説明

委員長 ・それでは、公園の課題を踏まえ、再整備に向けてのご意見をお願いします。

委員 ・普段、一般の方が使うジョギングコースがあるとよい。起伏があっても良く、幅員も広くなくてもよいので考えてほしい。ジョギングの大会では、一度、公園外に出たりなど、コース取りに苦労している。公園内で周回につくってもらえると良い。

委員 ・歩く、走るは、市民が一番参加しやすい運動。既存の資源を考慮したコース取りができると良いと思う。

委員 ・小学校では、体育施設として使うことは少ないが、地元の小学校がマラソン大会で利用している。ジョギングコースができれば、安心して使うことができる。その他の小学校の利用は、3年生の市内めぐりのバスの中継点として活用している。その際は芝生広場で昼食と休憩をとっているが、子どもによっては、展望広場まで行く子もいる。子供たちはただ広い芝生広場でなく、遊具ができればもっと楽しめると思う。  
・ウォークラリーやゲーム感覚で楽しめるコース、サクラ並木を楽しめるコース、クイズ的に楽しめるコースなどがあると、意欲的に散策ができると思う。

委員 ・市民活用が中心となるが、観光としての展開も考えてほしい。  
・対外的な利用促進が地域振興につながる。工業、商業が難しい中、外から人を呼ぶことは重要となる。その意味で、イベント開催ができる施設の整備も考えていただきたい。この地域は道路環境が今後整備されていき、首都圏から近い立地となる。公園でスポーツに限らない全てのイベントの開催ができると素晴らしい。  
・今回考えてほしい重点箇所が事務局より示されているが、市としてはそ

れ以外の箇所はどのように考えているのか。

- 事務局 ・再生修復事業の方針をつくるに当たり、現状や市民ニーズ等をふまえて、より効率的で現実的な整備を目指している。
- 委員長 ・委員の補足となるが、自分が係る仙台の公園内では、公園の中に観光センター的な観光をアピールできる場の整備を考えている。本公園でできるかは不明であるが、市の観光振興に向けて色々な提言を頂くことは非常に有意義と考える。  
・委員の指摘するイベントとはどのような内容をお考えでしょうか。
- 委員 ・コンサート、ミュージアムなど人の集まることを全般的に考えている。
- 委員長 ・法律が変わり、公設民営化、あるいは民設民営など、実現に向けては幅広い対応が期待できる。今回の検討の中で実現できるかは不明であるが、幅広い意見を頂きたい。
- 委員 ・自治会で一番問題となっているのは防災についてです。防災については、最初の 3 日間は地元での対応が求められ、公共の支援は得られないといわれている。今、説明を聞いているとこの公園は、後方基地としての位置づけが強く感じられる。この地域は、新東名等の整備も進んでいる。後方基地となるといろいろな人や物資も入って、今まであったスペースもなくなってくるのではないかと。もっと前線基地としての積極的な位置づけが必要ではないか。
- 事務局 ・災害時では、新東名の整備や県道 63 号の緊急輸送道路の位置づけ等、後方基地とは言いつつ、前線基地として各避難所への物資の配送なども担う、拠点的な役割を担っており、防災上の位置づけは広いと考えている。  
・このような役割を踏まえると自由広場などヘリポート候補地への屋根のある施設整備等、整備で難しい面もある。  
・但し、小さい意味での再整備を考えるものではないので、委員の指摘にあったような、大きな視点からの整備を考えていきたい。
- 委員 ・自由広場や体育館の利用が中心で、上の方へは高低差もあり、行くことがなかった。法面の活用や芝生広場の複合遊具の充実ができれば、利用は広がると思う。小学生の校外学習等で使えると思うが、駐車場が問題とな

る。東富岡公園等へのアクセスルートの分散は難しいのでしょうか。

委員長 ・イベント時に駐車場が不足しているとのことだが、どの程度の不足なのか。

事務局 ・日常的には、駐車場とレクリエーション広場で対応できているが、イベント時は、難しい状況となっている。周辺に駐車場を借りても、公園の入り口が一か所に限定されるため、県道が渋滞してしまう。入口の分散化として、ご指摘頂いた東富岡公園ですが、連絡路が山谷の深い立地のため、難しい状況にある。  
・先日も、連絡路となる自然散策路に車が落ちたこともあり、安全面からも難しいと考える。

委員長 ・隣接する他の公園との連携が示されているが、連携してどのような機能を高めていくのか。

事務局 ・東富岡公園が一番近い公園であるが、現況はテニスコートがあり、スポーツ施設としての連携や遊歩道的な連携をイメージしている。

委員長 ・自然散策路は全長 6.5 kmあるが、どの程度利用されているのか。

事務局 ・自然散策路の一部は、樹木が茂り、暗い印象を受ける。また道路も狭いため、利用は少ない。

委員 ・東富岡公園には、テニスコートが 3 面と広場があるが、広場はほとんど使われていない。もう少し、利用者を増やす方法を検討した方がよい。

委員長 ・散策のための地図づくりやサインなど、再整備と異なるが、そういう面も考えていく方がよい。

委員 ・スケールが大きく、難しいが、利用する立場として足りないものを提案したい。  
・ジョギングコースがないことや夜間、照明がないため危なく感じる。また、水遊びがあるとよいと思う。  
・この公園は自然も多く、展望広場の景色も良い。もっとアピールした方がよいと思う。起伏を使ったジョギングコースも特徴があって面白いと思

う。

委員 ・芝生広場は、駐車場から距離がありレクリエーション広場への駐車が近くて良いと思う。芝生広場は、段差もあるのでフェンスなど安全対策の検討が必要と思う。親子でも安心して使うことができる。

委員長 ・年代別に快適に使える対応は重要となる。

委員 ・ジョギングコースは、現在あるが、これは一般の方がジョギングの際の目安になるように位置付けたもので、競技レベルのものではない。目立たないこともあるが、看板も整備している。  
・駐車場は、月曜休みで、火曜から金曜は大会がないことから、概ね駐車場で対応できているが、ドッチボール大会など500～600人のちょっとした大会でも自由広場が使用中の場合、すぐに一般道に駐車される。  
・現在は、ちょっとした大会でも駐車場として自由広場が確保できないとお断りしている。臨時対応も含め、現状の駐車場が確保できないと運営サイドとしては、とても困る。

委員長 ・市として駐車場の有料化は考えているのか。

事務局 ・市内では公共施設等の駐車場の有料化の検討がなされており、総合運動公園においても今後継続して検討を進めていく状況である。  
・本公園は郊外にあり、ほとんどの利用者が車を利用していることなど、難しい面もあるが、検討を継続していく考えである。

委員長 ・公園内の調整池、既存樹林が、生物多様性を考える際、ポテンシャルの高い場所と考える。既存の自然やストックを活かす視点を持った計画を進めてほしい。

委員 ・調整池は、浄化槽処理水の排水が混入する。完全な自然の水でないことは、参考としてお話ししておく。

委員長 ・了解しました。以上で、皆さんの意見を頂けたと思います。議事を終了します。

以上